

Report

2008

第6回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議

事業報告書

第6回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議

主催：日本・イスラエル・パレスチナ学生会議 (JIPSC)

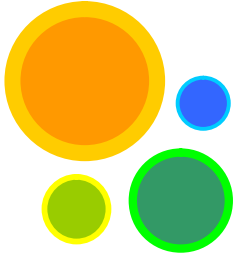
共催：長岡市(新潟県)、長野市(長野県)、武蔵野市(東京都)

後援：外務省、日本アラブ協会

助成：独立行政法人国際交流基金、財団法人ながの観光コンベンションビューロー、財団法人学生サポートセンター(申請中)

協賛：独立行政法人国際協力機構(JICA)、株式会社公文教育研究会、武蔵野ヤクルト販売株式会社、

第4回ICUドリームコンペ(国際基督教大学同窓会)



序文

2008年8月、「第6回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議」は大きな注目集めながら開催されました。まずは、ご協力いただいた多くの方に合同学生会議が皆様のおかげで無事終了することができたことを報告いたします。

2003年に第1回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議が開催されてから、ついに今年で第6回目の合同学生会議を迎えることができました。至らぬ点の多い私たちがこの活動を継続することができたのは、私たちを支えてくださった皆様のおかげだと思っています。この場をお借りして感謝の意を表したいと思います。

今年は、参加者はディスカッションや何気ない会話など、さまざまな対話を通して生み出される友情や平和への思いなどの共有できる価値を探っていきました。今年の合同学生会議も、時にはぶつかり合ったり、時にはともに笑いあったり、本当に中身の濃い2週間半でした。この報告書を通じて合同学生会議の様子を少しでも感じ取っていただければ幸いです。末筆ではございますが、以上をもちまして報告書の序文とさせていただきます。

日本・イスラエル・パレスチナ学生会議第6期代表 平山祐理

目次

1.概要

- 3 合同学生会議とは？／JIPSC について
- 4 合同学生会議概要／日程
- 5 参加者一覧
- 6 イスラエル・パレスチナ人参加者に関して
- 7 合同学生会議総括

3.イベント報告

- 19 長岡市民交流会
「～復興への想い、平和への願い～」
- 23 長野高校生プログラム
- 27 むさしの交流イベント
「～時をこえ、地域をこえる平和への思い～」
- 30 シンポジウム
「～対話から生まれるもの～」

5.個人総括

- 49 日本人参加者
- 57 イスラエル人参加者
- 60 パレスチナ人参加者

2.プログラム報告

- 11 長岡プログラム
- 14 長野プログラム
- 16 東京プログラム

4.ディスカッション報告

- 33 ①合同学生会議に参加するにあたって
- 35 ②歴史認識について
- 37 ③平和とは何か
- 39 ④和平の阻害要因について
- 41 ⑤イスラエル・パレスチナの多様性
- 43 ⑥メディア・教育について
- 45 ⑦エルサレム問題について
- 47 ⑧合同学生会議後の展望

6.資料編

- 63 メディア掲載記録・団体沿革

第6回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議
事業報告書

発行元: 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議

<http://www.jipsc.org/> E-mail info@jipsc.org

発行者: 平山 祐理

編集: 藤田 麻名・西川 紘未・盧 泰元

発行日: 2008年11月27日